

近畿厚生局長 殿

開設者名 学校法人 近畿大学
理事長 清水 由洋



近畿大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	55人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	415人	75人	423.8人	看護補助者	113人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	7人	6人	7.7人	理学療法士	13人	臨床検査技師	93人
薬剤師	58人	3人	59.3人	作業療法士	3人	臨床衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助産師	30人	0人	30.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	820人	25人	838.8人	臨床工学技士	15人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	1人	0人	1.0人	栄養士	0人	その他の技術員	42人
歯科衛生士	4人	2人	5.2人	歯科技工士	2人	事務職員	400人
管理栄養士	9人	2人	11.0人	診療放射線技師	49人	その他の職員	11人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	770.3人	3.6人	773.9人
1日当たり平均外来患者数	1,981.0人	86.8人	2,067.8人
1日当たり平均調剤数	4,207.60剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	歯根部利用人口角膜手術(OOKP)	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 スチーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡などの重症眼表面疾患において角膜が高度に混濁して視力不良にいたることがしばしばある。このような症例の場合、通常の角膜移植の成功率は低く、長期の視力改善は望めない。歯根部利用人工角膜手術(Osteo-odonto-keratoprosthesis:OOKP)はこのような症例の視力回復の最後の手段と言える方法である。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	37人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	50人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	51人	・原発性胆汁性肝硬変	34人
・全身性エリテマトーデス	165人	・重症急性膵炎	20人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	37人
・再生不良性貧血	28人	・混合性結合組織病	32人
・サルコイドーシス	69人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	22人	・特発性間質性肺炎	32人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	123人	・網膜色素変性症	35人
・特発性血小板減少性紫斑病	61人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	26人	・肺動脈性肺高血圧症	11人
・潰瘍性大腸炎	124人	・神経線維腫症	9人
・大動脈炎症候群	20人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	12人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	22人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	18人	・ライソゾーム病	1人
・クローン病	21人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	12人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	201人	・球脊髄性筋萎縮症	3人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	24人
・後縦靭帯骨化症	28人	・肥大型心筋症	5人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	7人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	25人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	18人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	46人

28

1,163人

19

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

47

319人
1,482人

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
医原性有害事象の発生率、防止可能性に関する臨床疫学的研究	森本 剛	救急総合診療センター	3,795,000	補 委 日本学術振興会
腎細胞癌に対するテーラーメイド癌ワクチン療法の開発	植村 天受	泌尿器科	1,680,000	補 委 日本学術振興会
放射免疫療法における腫瘍増殖能・低酸素状態の画像化	細野 眞	高度先端総合医療センター PET分子イメージング部	805,000	補 委 日本学術振興会
糖鎖転移酵素遺伝子群と視交叉上核における概日リズム発現変動について	西郷 和真	神経内科	1,150,000	補 委 日本学術振興会
超音波内視鏡を用いた胆膵疾患診断・治療システムの開発	北野 雅之	消化器内科	920,000	補 委 日本学術振興会
新規心臓線維化メカニズムの解明	岩永 善高	循環器内科	920,000	補 委 日本学術振興会
気道構成細胞の表現型変化に基づいた喘息分子薬理療法	久米 裕昭	呼吸器・アレルギー内科	575,000	補 委 日本学術振興会
NADPHオキシダーゼ新規制御因子Poldip2の腎病態生理における役割の解明	谷山 佳弘	腎臓内科	1,150,000	補 委 日本学術振興会
分子イメージングに基づく次世代放射線療法の開発	西村 恭昌	放射線科(放射線腫瘍学部門)	1,380,000	補 委 日本学術振興会
パーキンソン病に対する皮質脳波フィードバック型脳深部刺激の開発	中野 直樹	脳神経外科	575,000	補 委 日本学術振興会
ヒトiPS細胞からの軟骨細胞の分化誘導	福田 寛二	リハビリテーション科	1,035,000	補 委 日本学術振興会
酸化LDL/LOX-1系の軟骨変性への関与	赤木 将男	整形外科	805,000	補 委 日本学術振興会
高血糖の脳虚血白質傷害における最終糖化産物受容体の関与とその治療に関する研究	中尾 慎一	麻酔科	805,000	補 委 日本学術振興会
CML幹細胞における細胞周期解析と新治療法開発に向けた研究	松村 到	血液・膠原病内科	6,785,000	補 委 文部科学省
難治性神経疾患の病態におけるプロテオグリカンの意義の解明と臨床応用の検討	楠 進	神経内科	4,025,000	補 委 文部科学省
網羅的自己抗体プロファイリング法に基づく免疫性神経疾患の解明と治療戦略の構築	楠 進	神経内科	1,950,000	補 委 日本学術振興会
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立と適応決定に関する研究	西村 恭昌	放射線科(放射線腫瘍学部門)	390,000	補 委 日本学術振興会
多能性幹細胞由来スキャフィールドフリー三次元人工組織による骨軟骨再生	寺村 岳士	高度先端総合医療センター 再生医療部	130,000	補 委 日本学術振興会

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
多能性幹細胞由来スキャフォールドフリー三次元人工組織による骨軟骨再生	福田 寛二	リハビリテーション科	130,000	補委 日本学術振興会
学童の食習慣、生活習慣とアレルギー疾患の進展に関する前向き研究	森本 剛	救急総合診療センター	13,000	補委 日本学術振興会
ヒト皮質脳波信号処理に基づく運動・言語の高次脳機能発現メカニズムの研究	加藤 天美	脳神経外科	990,000	補委 日本学術振興会
脳外傷後の長期間運動による神経再生促進効果の研究	伊藤 龍生	病院病理部	1,150,000	補委 日本学術振興会
EGFRチロシンキナーゼ阻害剤によるアポトーシスにおけるサバイビンの役割	岡本 邦男	腫瘍内科	690,000	補委 日本学術振興会
酸化ストレス制御転写因子を標的とした脂肪肝の発症機構の解明と食品成分による予防	田中 裕滋	臨床検査医学部	690,000	補委 日本学術振興会
ガンキリンのプロテアソーム制御機構を利用した展開医療研究	櫻井 俊治	消化器内科	1,725,000	補委 日本学術振興会
COPD患者の労作時呼吸困難と脳活動の関係—fMRI及びNIRSによる検討	東本 有司	呼吸器・アレルギー内科	1,265,000	補委 日本学術振興会
1型糖尿病の組織特異的発症機序に関わる遺伝基盤の解明と発症予防・治療への応用	能宗 伸輔	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,265,000	補委 日本学術振興会
主要組織適合遺伝子複合体領域の1型糖尿病遺伝子の同定と機能解析	川畑 由美子	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,035,000	補委 日本学術振興会
レビー小体型認知症におけるアミロイド沈着、糖代謝病態解明	石井 一成	早期認知症センター	1,265,000	補委 日本学術振興会
肝細胞癌に対するペプチドワクチンカクテル療法	石川 原	肝胆膵外科	1,265,000	補委 日本学術振興会
内耳に発現するmiRNAの分子構造と生理機能の解析	土井 勝美	耳鼻咽喉科	1,610,000	補委 日本学術振興会
レプチン遺伝子による上皮間葉移行制御の分子機構	中原 寛和	歯科口腔外科	1,380,000	補委 日本学術振興会
緑茶が及ぼす脳外傷局所に出現する神経幹細胞の成熟、分化への影響に関する研究	佐藤 隆夫	病院病理部	1,610,000	補委 日本学術振興会
脂質代謝と酸化ストレス制御間のクロストーク機構に及ぼす食餌中脂質組成の役割	上裕 俊法	臨床検査医学部	920,000	補委 日本学術振興会
進行非小細胞肺癌における癌関連遺伝子の網羅的解析による治療標的分子探索研究	岡本 勇	腫瘍内科	1,840,000	補委 日本学術振興会
MET遺伝子増幅胃癌におけるMETチロシンキナーゼ阻害剤の抗腫瘍効果の解析	岡本 涉	腫瘍内科	2,645,000	補委 日本学術振興会
包括的エピゲノム解析に基づいた脂肪性肝疾患からの肝発癌予測因子の同定	西田 直生志	消化器内科	1,710,000	補委 日本学術振興会

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
2型糖尿病発症因子解明のための戦略:機能分割と再統合	馬場谷 成	内分泌・代謝・糖尿病内科	2,415,000	補委 日本学術振興会
自己免疫疾患における標的臓器決定因子の解明と治療への展開:1型糖尿病と膵β細胞	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	2,875,000	補委 日本学術振興会
p53遺伝子変異と治療早期のSer46リン酸化誘導からみた食道癌個別化治療戦略	安田 卓司	上部消化管外科	1,495,000	補委 日本学術振興会
前立腺癌に対する癌ワクチン療法に応用しうるペプチドの同定	南 高文	泌尿器科	2,760,000	補委 日本学術振興会
肝細胞癌の発癌・進展の分子機序:造影超音波クーパー相と遺伝子発現を用いた融合解析	工藤 正俊	消化器内科	1,265,000	補委 日本学術振興会
前立腺発癌モデルマウスを用いたセレンウムによる前立腺発癌予防効果の検討	野澤 昌弘	泌尿器科	1,150,000	補委 日本学術振興会
チーム医療を軸にした医療安全教育の有効性に関する研究	森本 剛	救急総合診療センター	1,840,000	補委 日本学術振興会
救急医に求められるコンピテンシーに関する研究	平出 敦	救急総合診療センター	1,495,000	補委 日本学術振興会
多様性幹細胞からの間葉系幹細胞の分化誘導と評価	寺村 岳士	高度先端総合医療センター 再生医療部	805,000	補委 日本学術振興会
哺乳類ES細胞からの半数体生殖細胞の誘導	竹原 俊幸	高度先端総合医療センター 再生医療部	1,150,000	補委 日本学術振興会
肺がんにおけるFOXQ1高発現による分子標的薬を含む化学療法の効果予測	金田 裕靖	腫瘍内科	1,610,000	補委 日本学術振興会
ループ腎炎に対する抗Kim-1抗体の治療効果について	野崎 祐史	血液・膠原病内科	805,000	補委 日本学術振興会
関節軟骨におけるストレス応答分子の検索と炎症・基質破壊経路との関連性に関する検討	小野寺 勇太	高度先端総合医療センター 再生医療部	1,840,000	補委 日本学術振興会
担がん患者の骨微小環境の解析と間葉系幹細胞の病態への動的関与	今野 元博	上部消化管外科	130,000	補委 日本学術振興会
心不全の基礎疾患と病期を考慮した新しい包括的心不全治療法の開発	平出 敦	救急総合診療センター	65,000	補委 日本学術振興会
免疫性神経疾患における糖鎖へのBリンパ球応答のネガティブレギュレーター解析	楠 進	神経内科	5,635,000	補委 日本学術振興会
小児科病棟における医原性有害事象の発生率及びリスク因子測定のための臨床疫学研究	作間 未織	救急総合診療センター	8,395,000	補委 日本学術振興会
幹細胞による次世代の低侵襲軟骨再生治療の開発と臨床応用	赤木 将男	整形外科	3,000,000	補委 厚生労働省
進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的薬併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(PhaseIII)ならびに効果を予測するbiomarkerの探索研究	上嶋 一臣	消化器内科	100,000	補委 厚生労働省

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
去勢抵抗性前立腺がんに対する新規がんペプチドワクチン療法開発のための第I相・第II相(前半)臨床試験	植村 天受	泌尿器科	1,000,000	補 委 厚生労働省
突発性発汗異常症・色素異常症の病態解析と新規治療薬開発に向けた戦略的研究	大磯 直毅	皮膚科	2,000,000	補 委 厚生労働省
頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	岡本 勇	腫瘍内科	300,000	補 委 厚生労働省
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	岡本 勇	腫瘍内科	2,800,000	補 委 厚生労働省
進展型小細胞肺がんに対する予防的全脳照射のランダム化比較第Ⅲ相試験	岡本 勇	腫瘍内科	500,000	補 委 厚生労働省
ハイブリッドロングペプチドを用いた革新的次世代がん治療ワクチンの開発とその臨床効果	奥野 清隆	下部消化管外科	2,000,000	補 委 厚生労働省
てんかんの有病率等に関する疫学研究及び診療実態の分析と治療体制の整備に関する研究	加藤 天美	脳神経外科	500,000	補 委 厚生労働省
遺伝性ポルフィリン症:新病型の診断法と新しい診療ガイドラインの確立	川田 暁	皮膚科	100,000	補 委 厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究	楠 進	神経内科	33,000,000	補 委 厚生労働省
治験の実施に関する研究[サリドマイド]	楠 進	神経内科	1,000,000	補 委 厚生労働省
スモンに関する調査研究	楠 進	神経内科	500,000	補 委 厚生労働省
肥厚性硬膜炎の診断基準作成とそれに基づいた臨床疫学調査の実施ならびに診療指針の確立	楠 進	神経内科	350,000	補 委 厚生労働省
中枢・末梢連合脱髄症の診断基準作成と臨床疫学調査の実施による治療指針の確立	楠 進	神経内科	200,000	補 委 厚生労働省
アトピー関連脳脊髄・末梢神経障害の病態解明と画期的治療法の開発	楠 進	神経内科	1,500,000	補 委 厚生労働省
進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的薬併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(PhaseⅢ)ならびに効果を予測するbiomarkerの探索研究	工藤 正俊	消化器内科	18,500,000	補 委 厚生労働省
慢性ウイルス性肝疾患の非侵襲的線維化評価法の開発と臨床的有用性の確立	工藤 正俊	消化器内科	39,500,000	補 委 厚生労働省
慢性ウイルス性肝疾患の非侵襲的線維化評価法の開発と臨床的有用性の確立	工藤 正俊	消化器内科	35,582,994	補 委 厚生労働省
慢性ウイルス性肝疾患患者の情報収集の在り方等に関する研究	工藤 正俊	消化器内科	1,500,000	補 委 厚生労働省
オカルト黄斑ジストロフィーの効果的診断法の確立および病態の解明	國吉 一樹	眼科	800,000	補 委 厚生労働省

小計

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
次世代シーケンサーを用いたエクソーム配列解析による黄斑ジストロフィーの原因遺伝子と発症機序の解明	國吉 一樹	眼科	3,000,000	補 委 厚生労働省
アカントアメーバ角膜炎制御におけるレンズケアの重要性	下村 嘉一	眼科	500,000	補 委 厚生労働省
腎・泌尿器系の希少難治性疾患群に関する調査研究	竹村 司	小児科	5,000,000	補 委 厚生労働省
難治性膵疾患に関する調査研究	竹山 宜典	肝胆膵外科	1,000,000	補 委 厚生労働省
新しい人工内耳(EAS)に関する基礎的、臨床的研究	土井 勝美	耳鼻咽喉科	900,000	補 委 厚生労働省
前庭機能異常に関する調査研究	土井 勝美	耳鼻咽喉科	1,050,000	補 委 厚生労働省
気管支喘息に対する喘息死の予防や自己管理手法の普及に関する研究	東田 有智	呼吸器・アレルギー内科	1,000,000	補 委 厚生労働省
オピオイド治療効果に対する実測可能な薬理学的効果予測システムORPSの開発	中川 和彦	腫瘍内科	16,800,000	補 委 厚生労働省
進行非小細胞肺癌を対象としたエルロチニブとYM155の分子標的治療薬併用第I相試験	中川 和彦	腫瘍内科	118,288,000	補 委 厚生労働省
再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	900,000	補 委 厚生労働省
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	200,000	補 委 厚生労働省
希少がんに対するウイルス療法の実用化臨床研究	中原 寛和	腫瘍内科	1,000,000	補 委 厚生労働省
頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	西村 恭昌	放射線科(放射線腫瘍学部門)	11,700,000	補 委 厚生労働省
慢性期ハイリスク者、脳卒中および心疾患患者者に適切な早期受診を促すための地域啓発研究	平出 敦	救急総合診療センター	1,300,000	補 委 厚生労働省
医療放射線の安全確保と有効利用に関する研究	細野 眞	高度先端総合医療センター PET分子イメージング部	2,366,000	補 委 厚生労働省
成人難治性白血病におけるバイオマーカーに基づく層別化治療法の確立	松村 到	血液・膠原病内科	1,000,000	補 委 厚生労働省
慢性ウイルス性肝疾患の非侵襲的線維化評価法の開発と臨床的有用性の確立	村上 卓道	放射線科(放射線診断学部門)	100,000	補 委 厚生労働省
慢性ウイルス性肝疾患の非侵襲的線維化評価法の開発と臨床的有用性の確立	矢田 典久	消化器内科	100,000	補 委 厚生労働省
化学療法先行治療を進行卵巣がんの標準治療とするための研究	渡部 洋 25.2.1→中井英勝	産婦人科	800,000	補 委 厚生労働省

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
卵巣明細胞腺癌に対するテムシロリムスを含む化学療法の有効性及び安全性に関する研究	渡部 洋 25.2.1→万代昌紀	産婦人科	1,200,000	補 委 厚生労働省
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究	楠 進	神経内科	600,000	補 委 国立精神・神経医療研究センター
認知症臨床研究・治験ネットワークの構築とネットワークを利用した認知症臨床研究の推進に関する研究	石井 一成	早期認知症センター	1,000,000	補 委 国立長寿医療研究センター
機能的脳疾患医療応用の検討	加藤 天美	脳神経外科	10,088,000	補 委 科学技術振興機構(JST)
「効果的な複合免疫療法の確立」(オンコアンチゲン由来ペプチドワクチンにおける抗がん剤併用免疫療法の開発)	奥野 清隆	下部消化管外科	3,000,000	補 委 科学技術振興機構(JST)
「チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究」(肺がんにおける上皮成長因子受容体チロシンキナーゼ阻害薬耐性機構の解明における遺伝子解析(臨床指定3A2)、及び乳がんのTKI感受性・耐性を規定する分子機構の解明における遺伝子解析・検体保存(臨床指定3E1))	中川 和彦	腫瘍内科	13,636,364	補 委 科学技術振興機構(JST)
呼吸器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究(分担研究課題 進行肺癌に対する集学的治療)	中川 和彦	腫瘍内科	800,000	補 委 国立がん研究センター
外来化学療法における標準的管理システムの構築に関する研究	藤阪 保仁	腫瘍内科	600,000	補 委 国立がん研究センター
糖尿病患者における心血管疾患予防の最適化に関する研究	宮崎 俊一	循環器内科	500,000	補 委 国立循環器病研究センター
1型糖尿病疾患感受性遺伝子の道程ならびに機能的位置づけ	廣峰 義久	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,000,000	補 委 大阪難病研究財団
高血糖の全脳虚血(心肺停止・蘇生後)に対する影響と対策	岩元 辰篤	麻酔科	1,000,000	補 委 大阪難病研究財団

小計

11

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

累計

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

105

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Journal of Diabetes Investigation	Report of the Committee of the Japan Diabetes Society on the Research of Fulminant and Acute-onset Type 1 Diabetes Mellitus: New diagnostic criteria of fulminant type 1 diabetes mellitus (2012)	池上 博司	内分泌・代謝・ 糖尿病内科
Diabetology International	Report of the Committee of the Japan Diabetes Society on the Research of Fulminant and Acute-onset Type 1 Diabetes Mellitus: New Diagnostic Criteria of Fulminant Type 1 Diabetes Mellitus (2012)	池上 博司	内分泌・代謝・ 糖尿病内科
Journal of Diabetes Investigation	Prolonged Hyperinsulinemia After Subcutaneous Injection of 2400 U Regular Insulin in a Suicide Attempt: Time Course of Serum Insulin with Frequent Measurements.	廣峰 義久	内分泌・代謝・ 糖尿病内科
Diabetologia	Association of genetic variation in FTO with risk of obesity and type 2 diabetes with data from 96,551 East and South Asians	池上 博司	内分泌・代謝・ 糖尿病内科
糖尿病	1型糖尿病調査研究委員会報告—劇症1型糖尿病の新しい診断基準(2012)	池上 博司	内分泌・代謝・ 糖尿病内科
日本体質医学会雑誌	会長講演・学会賞受賞講演 「1型糖尿病の体質に関する分子遺伝学的研究」	池上 博司	内分泌・代謝・ 糖尿病内科
日本体質医学会雑誌	若手研究奨励賞受賞講演 「Graves病の遺伝子解析：HLA Class Iの関与」	村田 佳織	内分泌・代謝・ 糖尿病内科
J Med Ultrason 28: 15-19, 2012.	Quantification of tumor vascularity with contrast-enhanced ultrasound for early response of transcatheter arterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma: a report of three cases.	南 康範	消化器内科
Am J Gastroenterol 107, 303-310, 2012.	Characterization of small solid tumors in the pancreas: The value of contrast-enhanced harmonic endoscopic ultrasonography.	北野 雅之	消化器内科
Jpn J Clin Oncol 42: 105-112, 2012.	Plasma concentrations of angiogenesis-related molecules in patients with pancreatic cancer.	坂本 洋城	消化器内科
Eur J Radiol 81: e277-280, 2012.	Treatment response assessment of radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma: Usefulness of virtual CT sonography with magnetic navigation.	南 康範	消化器内科
Clin Drug Invest 32:suppl.2:37-51, 2012.	Current status of hepatocellular carcinoma treatment in Japan: Case study and discussion-voting system.	工藤 正俊	消化器内科
Clin Drug Invest 32:suppl.2:52, 2012.	Closing remarks.	工藤 正俊	消化器内科
Liver Cancer 1(1):1, 2012.	Welcome to the first issue of Liver Cancer.	工藤 正俊	消化器内科
Brit J Cancer 106:1997-2003, 2012.	Activation of JNK and high expression level of CD133 predict a poor response to Sorafenib in hepatocellular carcinoma.	萩原 智	消化器内科
Gastrointest Endosc 76:892-899, 2012.	Transcatheter endoscopy for pancreaticobiliary duct diseases (with videos).	坂本 洋城	消化器内科
Liver Cancer 1(2):59-60, 2012.	Why does every hepatocellular carcinoma clinical trial using molecular targeted agents fail?	工藤 正俊	消化器内科
Liver Cancer 1(2):62-70, 2012.	Treatment of advanced hepatocellular carcinoma with emphasis on hepatic arterial infusion chemotherapy and molecular targeted therapy.	工藤 正俊	消化器内科

小計

18

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Digest Endosc 24:489, 2012.	Case of Peutz-Jeghers syndrome with depressed-type early duodenal carcinoma.	櫻井 俊治	消化器内科
Digest Dis 30:539-540, 2012.	Preface.	工藤 正俊	消化器内科
Digest Dis 30:541-546, 2012.	Characteristic pattern of reactivation of hepatitis B virus during chemotherapy for solid cancers.	萩原 智	消化器内科
Digest Dis 30:547-553, 2012.	Gender differences in the livers of patients with hepatocellular carcinoma and chronic hepatitis C infection.	西田 直生志	消化器内科
Digest Dis, 30:561-567, 2012.	Risk of HCC development in cases of hepatitis C treated by long-term, low-dose PEG-IFN α 2a.	萩原 智	消化器内科
Digest Dis 30:592-597, 2012.	Hepatocellular carcinoma with obstructive jaundice: endoscopic and percutaneous biliary drainage.	南 康範	消化器内科
Digest Dis 30:609-616, 2012.	Real-life clinical practice with sorafenib in advanced hepatocellular carcinoma: a single center experience.	工藤 正俊	消化器内科
Hepatology 56:994-1003, 2012.	Characteristic patterns of altered DNA methylation predict emergence of human hepatocellular carcinoma.	西田 直生志	消化器内科
Gastrointest Endosc Clin N Am 22:349-358, 2012.	Endoscopic ultrasound: contrast enhancement.	北野 雅之	消化器内科
World J Gastroenterol 18:6005-6017, 2012.	Signaling pathway/molecular targets and new targeted agents under development in hepatocellular carcinoma.	工藤 正俊	消化器内科
Glin J Gastroenterol 5:383-387, 2012.	Septicemia due to vibrio cholerae serogroup non-01/non-0139 strain in a cirrhotic patient.	井上 達夫	消化器内科
Liver Cancer 1(3):141-143, 2012.	Japan's successful model of nationwide hepatocellular carcinoma surveillance highlighting the urgent need for global surveillance.	工藤 正俊	消化器内科
Hepato Res 42: 394-400, 2012.	Activation of c-Jun N-terminal kinase in non-cancerous liver tissue predicts a high risk of recurrence after hepatic resection for hepatocellular carcinoma.	萩原 智	消化器内科
Cancer Res 73:215-224, 2012.	p38 α inhibits liver fibrogenesis and consequent hepatocarcinogenesis by curtailing accumulation of reactive oxygen species.	櫻井 俊治	消化器内科
Curr Cancer Drug Tar 12: 1062-1072, 2012.	Targeted therapy for liver cancer: updated review in 2012.	工藤 正俊	消化器内科
J Gastroenterol 47: 1036-1047, 2012.	Assessment of Gd-EOB-DTPA-enhanced MRI for HCC and Dysplastic nodule and comparison of detection sensitivity versus MDCT.	井上 達夫	消化器内科
日本検査血液学会雑誌	慢性骨髄性白血病の診断と治療	松村 到	血液・膠原病内科
Int J Hematol	Successful anticoagulant therapy for two pregnant PNH patient	森田 泰慶	血液・膠原病内科
INTERNAL MEDICINE	Successful allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in a young patient with richter syndrome presenting with chronic lymphocytic leukemia and diffuse large B-cell lymphoma with different cell origins.	頼 晋也	血液・膠原病内科

小計

19

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Int Canc Conf J	A case of intraocular lymphoma with central nervous system involvement and high interleukin-10 levels in both vitreous humor and cerebrospinal fluids: successful treatment with a combination of intravitreal, intrathecal, and systemic therapy	宮武 淳一	血液・膠原病内科
Leuk & Lymphoma	Clinical importance of human herpes virus-8 and human immunodeficiency virus infection in primary effusion lymphoma.	口分田 貴裕	血液・膠原病内科
INTERNAL MEDICINE	Sub-acute demyelinating polyradiculoneuropathy as an initial symptom of peripheral T cell lymphoma, not otherwise specified (PTCL-NOS).	川西 一信	血液・膠原病内科
Hematology	Interleukin-8 in the pathogenesis of primary central nervous system lymphoma in association with HIV infection.	笹川 淳	血液・膠原病内科
臨床リウマチ	著明な指趾先端潰瘍を呈したUCTDの1例	樋野 尚一	血液・膠原病内科
Kidney International	Signaling through the interleukin-18 receptor α attenuates inflammation in cisplatin-induced acute kidney injury	野崎 祐史	血液・膠原病内科
Glycobiology 2012; 22: 352-360.	Anti-GM1/GD1a complex antibodies in GBS sera specifically recognize the hybrid dimer of GM1-GD1a.	楠 進	神経内科
J Neurol 2012; 259: 457-461	Late-onset Alexander disease with a V87L mutation in glial fibrillary acidic protein (GFAP) and calcifying lesions in the sub-cortex and cortex.	鈴木 秀和	神経内科
Amyotroph Lateral Scler 2012; 13: 125-131.	Clinical analysis and outcomes of amyotrophic lateral sclerosis with demyelinating polyneuropathy.	楠 進	神経内科
Clin Neurol Neurosurg, 2012; 114: 1345-1347.	Acute pure motor demyelinating neuropathy with hyperreflexia and anti-GalNAc-GD1a antibodies.	楠 進	神経内科
Intern Med 2012; 51: 1493-1500.	Intravenous immunoglobulin (IVIg) with methylprednisolone pulse therapy for late motor impairments of idiopathic neuralgic amyotrophy: clinical observations in 11 cases.	楠 進	神経内科
Neurosci Res, 2012;74:284-289.	Refractory acute disseminated encephalomyelitis with anti-galactocerebroside antibody.	寒川 真	神経内科
Neurol Sci, 2012; 33: 1473-6.	A case with anti-galactocerebroside antibody-positive Mycoplasma pneumonia meningoencephalitis presenting secondary hypersomnia.	楠 進	神経内科
Arch Intern Med, 2012; 172: 1257-1261	A case of severe neurotoxicity associated with exposure to 1-bromopropane, an alternative to ozone-depleting or global-warming solvents.	寒川 真	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry, 2012; 83:1210-5	Nationwide survey of patients in Japan with Backerstaff brainstem encephalitis: epidemiological and clinical characteristics.	楠 進	神経内科
Intern Med, 2012; 51: 2443-2448	Acute combined central and peripheral demyelination showing anti-aquaporin 4 antibody positivity.	北田 菜里	神経内科
Eur Neurol 2012; 69: 21-26	Details of treatment-related difficulties in men with anti-N-Methyl-D-Aspartate Receptor encephalitis.	寒川 真	神経内科
Case Rep Neurol 2012; 4: 212-215.	A case of Fisher-Bickerstaff syndrome overlapped by Guillain-Barré syndrome.	楠 進	神経内科
神経治療学 29:347-350, 2012	経口ステロイド薬とcyclosporineの併用による視神経脊髄炎の再発	宮本 勝一	神経内科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
新薬と臨床 61:1445-1452, 2012	ラット実験の自己免疫性神経炎 (EAN) モデルにおける静注用ヒト免疫	楠 進	神経内科
臨床神経学 52:656-659, 2012	除皮質硬直姿勢を呈したspindle coma から完全回復したBickerstaff脳幹脳炎の若年男性の1例.	楠 進	神経内科
神経治療学29: 429-434, 2012	免疫グロブリン大量静注療法が寛解維持に有効であった抗signal recognition particle抗体陽性筋炎の2例.	寒川 真	神経内科
大阪てんかん研究会雑誌23: 7-14, 2012	痙攣発作と精神症状を呈したMorvan症候群の1例.	寒川 真	神経内科
Acta Oncol.	Marked response to both S-1 and pemetrexed in a patient with echinoderm microtubule-associated protein-like 4-anaplastic lymphoma kinase-positive lung adenocarcinoma.	金田 裕靖	腫瘍内科
Invest New Drugs	Safety and pharmacokinetic study of nab-paclitaxel plus carboplatin in chemotherapy-naïve patients with advanced non-small cell lung cancer.	岡本 勇	腫瘍内科
Ann Oncol.	Postprogression survival for first-line chemotherapy of patients with advanced non-small-cell lung cancer.	林 秀敏	腫瘍内科
Lung Cancer.	A phase I/II study of carboplatin plus gemcitabine for elderly patients with advanced non-small cell lung cancer: West Japan Thoracic Oncology Group Trial (WJTOG) 2905.	倉田 宝保	腫瘍内科
Jpn J Clin Oncol.	Clinical Impact of Switching to a Second EGFR-TKI After a Severe AE Related to a First EGFR-TKI in EGFR-mutated NSCLC.	武田 真幸	腫瘍内科
Molecular Cancer Therapeutics	Antitumor action of the MET tyrosine kinase inhibitor crizotinib (PF-02341066) in gastric cancer positive for MET amplification.	岡本 涉	腫瘍内科
Cancer Sci.	Echinoderm microtubule-associated protein-like 4-anaplastic lymphoma kinase-targeted therapy for advanced non-small cell lung cancer: molecular and clinical aspects.	岡本 勇	腫瘍内科
Anticancer Res.	Pilot study of duloxetine for cancer patients with neuropathic pain non-responsive to pregabalin.	松岡 弘道	腫瘍内科
J Thorac Oncol.	Postmarketing surveillance study of erlotinib in Japanese patients with non-small-cell lung cancer (NSCLC): an interim analysis of 3488 patients (POLARSTAR).	中川 和彦	腫瘍内科
Jpn J Clin Oncol.	Efficacy and safety of denosumab for the treatment of bone metastases in patients with advanced cancer.	倉田 宝保	腫瘍内科
BMC Cancer.	Impact of treatment with bevacizumab beyond disease progression: a randomized phase II study of docetaxel with or without bevacizumab after platinum-based chemotherapy plus bevacizumab in patients with advanced nonsquamous non-small cell lung cancer (WJOG 5910L).	武田 真幸	腫瘍内科
Gastrointest Cancer Res.	Capecitabine plus Cisplatin treatment for advanced gastric cancer in a patient with hepatic impairment secondary to metastases.	川上 尚人	腫瘍内科
Annals of Oncology	Clinical outcome for EML4-ALK-positive patients with advanced non-small cell lung cancer treated with first-line platinum-based chemotherapy.	武田 真幸	腫瘍内科
Glin Cancer Res.	Activation of HER family signaling as a mechanism of acquired resistance to ALK inhibitors in EML4-ALK-positive non-small cell lung cancer.	谷崎 潤子	腫瘍内科
Anticancer Res.	Clinical Outcomes of Thoracic Radiotherapy for Locally Advanced NSCLC with EGFR Mutations or EML4-ALK Rearrangement.	林 秀敏	腫瘍内科

小計

19

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Cancer Science	Clinical Phase I Study of Elpamotide, a Peptide Vaccine for VEGFR 2, in Patients with Advanced Solid Tumors.	岡本 勇	腫瘍内科
Cancer Science	Phase I trial of OTS11101, an anti-angiogenic vaccine targeting Vascular Endothelial Growth Factor Receptor 1 in solid tumor.	林 秀敏	腫瘍内科
Clinical nephrology	GSTT1 gene abnormality in minimal change nephrotic syndrome w	宮崎 紘平	小児科
World Journal of Pediatrics	Newly-identified symptoms of Left Vein Entrapment Sndrome mim	越道 万智子	小児科
Nephrology	Effect and therapeutic mechanisms of tonsillectomy for childh	西 一美	小児科
Tohoku J Exp Med	C3 glomerulonephritis associated with a missense mutation in	杉本 圭相	小児科
Pediatric Int	Nephrotic syndrome complicated by renal and cerebral infarcti	杉本 圭相	小児科
Clin Exp Nephrol	Nonfunction of the ECT2 gene may cause renal tubulointerstiti	伊豆 亜加音	小児科
Nephron Clin Pract	Pediatric Left Renal Vein Entrapment Syndrome Diagnosed by 99	杉本 圭相	小児科
Current Pharmaceutical Biotechnology	Recent advances in active specific cancer vaccine treatment for colorectal cancer	奥野 清隆	下部消化管外科
Bruno Cola, XXV Biennial Congress of the International Society of University Colon and Rectal	Clinical responses of colorectal cancer-specific peptide vaccination in combination with	奥野 清隆	下部消化管外科
Surgeons (ISUCRS)-X National Congress of Italian Society of University Surgeons (SICU).	tegafur-uracil and leucovorin for advanced colorectal cancer patients.	奥野 清隆	下部消化管外科
Oncology Today	図説 がんペプチドワクチン療法	奥野 清隆	下部消化管外科
がんペプチドワクチン療法	大腸がんに対するペプチドワクチン療法	奥野 清隆	下部消化管外科
日本外科系連会学会誌37	がんペプチドワクチン療法の開発状況	奥野 清隆	下部消化管外科
日本外科系連会学会誌37	進行・再発大腸癌に対するペプチドワクチン+UFT/LV併用療法	奥野 清隆	下部消化管外科
日本臨牀70	免疫療法薬の開発と動向	奥野 清隆	下部消化管外科
癌と化学療法	進行再発大腸癌に対するUFT/LV併用ペプチドワクチンカクテル療法の臨床試験	奥野 清隆	下部消化管外科
Epilepsy Res	Altered extrafocal lomazenil activity in mesial temporal lobe epilepsy	加藤 天美	脳神経外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Epilepsy Res	Ictal high-frequency oscillations on scalp EEG predicting the epileptogenic zone in symptomatic West syndrome.	加藤 天美	脳神経外科
J Clin NeuroSci	Spinal syringomyelia following subarachnoid hemorrhage.	中西 欣弥	脳神経外科
Brain Dev	Long-term developmental outcome in patients with West syndrome after epilepsy surgery.	加藤 天美	脳神経外科
ISRN Neurology	Computed Three-Dimensional Atlas of Subthalamic Nucleus and Its Adjacent Structures for Deep Brain Stimulation in Parkinson's Disease.	中野 直樹	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo)	Neuromodulation Using Intrathecal Baclofen Therapy for Spasticity and Dystonia	内山 卓也	脳神経外科
J Clin Neurosci	Fluorescence-guided surgery for glioblastoma multiforme using high-dose fluorescein sodium with excitation and barrier filters.	奥田 武司	脳神経外科
胸部外科	1枚のシェーマ 虚血性心筋症に対するoverlap法 第1例	佐賀 俊彦	心臓血管外科
胸部外科	手術の工夫 冠状動脈起始異常に合併した急性大動脈解離	西野 貴子	心臓血管外科
Journal of Cardiac Surgery	Early and late results of surgical treatment for ventricular septal rupture with and without use of the infarction exclusion technique—experience with two- and three-sheet modification.	金田 敏夫	心臓血管外科
Inflamm Res.	Cyclic compression-induced p38 activation and subsequent MMP13 expression requires Rho/ROCK activity in bovine cartilage explants.	中川 晃一	整形外科
The Knee	Estimation of frontal alignment error of the extramedullary tibial guide on the bi-malleolar technique : A simulation study with magnetic resonance imaging.	赤木 将男	整形外科
J Orthop Sci.	Nonunited insufficiency fracture of the proximal tibia and the distal femur treated by high tibial osteotomy in a patient under hemodialysis.	森 成志	整形外科
中部整災誌	抗菌薬封入セメントビーズを用いて軽快した胸椎化膿性脊椎炎の1例	橋本 和喜	整形外科
Osteoporosis Jpn	大腿骨近位部骨折リスク評価ツールの検討 (ucOC、FRAX® 大腿骨頭部骨密度)	池田 光正	整形外科
中部整災誌	腱鞘巨細胞腫の治療成績と再発例の検討	西村 俊司	整形外科
臨床バイオメカニクス	単顆人工膝関節置換術における脛骨内側顆の応力解析：脛骨インプラント設置アライメントによる影響	赤木 将男	整形外科
中部整災誌	橈骨遠位端骨折変形癒合に対する掌側からの矯正骨切り術	大谷 和裕	整形外科
日本肘関節学会雑誌	長期間経過した肘関節強直に対してヒンジ付き創外固定器を併用した1経験	富山 貴司	整形外科
中部整災誌	頸椎症性脊髄症に対する両開き式（観音開き）椎弓形成術と頸椎後弯の検討	池田 光正	整形外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
中部整災誌	尺骨短縮骨切り術後の遷延癒合に対する低出力超音波骨折治療器の有用性	大谷 和裕	整形外科
新薬と臨床	消化性潰瘍既往歴のあるNSAIDs服用患者におけるランソプラゾール(タケプロン®)投与後の自覚症状に関するアンケート調査—Minami osaka Area Look back Takepron Study (MART Study)	池田 光正	整形外科
中部整災誌	FDG-PETにて転移性骨腫瘍と診断された仙椎insufficiency fractureの2例	西村 俊司	整形外科
J Invest Dermatol 132 (2): 315-323, 2012	Ne-(Carboxymethyl)lysine modification of elastin alters its biological properties: implications for the accumulation of abnormal elastic fibers in actinic elastosis	吉永 英司	皮膚科
Photomedicine and Laser Surgery 30 (2): 107-111, 2012	Efficacy and Safety of a Low-energy Double-pass 1450-nm Diode Laser for the Treatment of Acne Scars	和田 珠恵	皮膚科
J Dermatol 2012; 39(1): 94-96	Clinical effectiveness of once-daily levofloxacin for inflammatory acne with high concentrations in the lesions.	川田 暁	皮膚科
Dermatol Res Pract 2012; 2012: 925023 (3 pages)	Nail isthmus: a distinct region of the nail apparatus.	大磯 直毅	皮膚科
Eur J Dermatol 2012; 22(1): 152-153.	Unusual exophytic inclusion warts as a cutaneous horn on the dorsum of the hand.	大磯 直毅	皮膚科
Eur J Dermatol 2012; 22(1): 153-154.	Coexisting pustular and ulcerative pyoderma gangrenosum.	三宅 早苗	皮膚科
J Dermatol 2012; 39(3): 288-289.	Renbök phenomenon in a patient with alopecia areata universalis and psoriasis.	大磯 直毅	皮膚科
Case Rep Dermatol 2012; 4(1): 47-49.	Cellulitis with leukocytopenia as an initial sign of acute promyelocytic leukemia.	坂本 幸子	皮膚科
Pigment Cell Melanoma Res 2012; 25(3): E1-E13.	Revised classification/nomenclature of vitiligo and related issues: the Vitiligo Global Issues Consensus Conference.	大磯 直毅	皮膚科
Eur J Dermatol 2012; 22(3): 393-394.	Loss of genomic DNA copy numbers in the p18, p16, p27 and RB loci in blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm.	大磯 直毅	皮膚科
Eur J Dermatol 2012; 22(3): 395-396.	Cervical auricles in a family.	大磯 直毅	皮膚科
J Dermatol 2012; 39(9): 798-799.	House cat scratching-induced linear vitiligo as Köbner phenomena.	大磯 直毅	皮膚科
Pediatr Dermatol 2012; 29(5): 637-640.	Erythema dyschromicum perstans in a Japanese child.	大磯 直毅	皮膚科
Pediatr Dermatol 2012; 29(5): 671-672.	Freckling promoted by topical tacalcitol in a Japanese boy with left eyelid vitiligo.	大磯 直毅	皮膚科
J Cosmet Dermatol Sci Appl 2012; 2(3): 141-143.	Scleredema diabeticorum in a patient with the normal range of the hemoglobin A1c level and impaired glucose tolerance.	松田 洋昌	皮膚科
J Cosmet Dermatol Sci Appl 2012; 2(3): 212-213.	Dermoscopic appearances in the superficial and deep type of infantile hemangioma.	三宅 宗晴	皮膚科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Cosmet Dermatol Sci Appl 2012; 2(3): 216-218.	Allergic contact dermatitis from diethyl sebacate in a topical antimycotic medicament.	平尾 文香	皮膚科
J Dermatol 2012; 39(11): 941-943.	Blaschkitis-like eruptions with hypodontia and low IκB kinase gamma expression.	大磯 直毅	皮膚科
Eur J Dermatol 2012; 22(6): 793-734.	Erythema dyschromicum perstans showing an ash-colored hyperpigmented lesion and an adjacent incompletely hypopigmented lesion surrounded by an erythematous border: a boundary spectrum to annular lichenoid dermatitis of youth?	大磯 直毅	皮膚科
J Dermatol 2012; 39(12): 1097-1099.	Variant of linear atrophoderma of Moulin: Hyper- and hypopigmented linear atrophoderma with aberrant area cutanea and lentiginosis following the lines of Blaschko.	大磯 直毅	皮膚科
J Dermatol 2012; 39(12): 1104-1105.	Dermoscopic assessment for a brushing treatment for a patient pelted with metal fragments in an industrial explosion.	大磯 直毅	皮膚科
J Cosmet Dermatol Sci Appl 2012; 2(4): 239-240.	Reed nevus (pigmented spindle cell nevus) in an 11-month-old Japanese infant.	藤田 美幸	皮膚科
J Cosmet Dermatol Sci Appl 2012; 2(4): 252-253.	Dermoscopic features of hyperpigmented dots in crista cutis in two siblings in a Japanese family with inherited acanthosis nigricans.	内田 修輔	皮膚科
J Cosmet Dermatol Sci Appl 2012; 2(4): 265-266.	Concomitant occurrence of segmental neurofibromatosis and lun	森田 玲子	皮膚科
World J Dermatol 2012; 1(2): 6-9.	Pigmentary mosaicism and specific forms of phylloid hypo- and hypermelanosis.	大磯 直毅	皮膚科
Acta Med Kinki Univ 2012; 37(2): 77-80.	Occupational contact dermatitis in hairdressers.	三宅 宗晴	皮膚科
Clinical Ophthalmology	Frontail sling procedure for ocular myasthenia gravis	朝村 真一	形成外科
Journal of Craniofacial Surgery	Why does the corrective procedure of the ectropion work for the repair of the entropion?	朝村 真一	形成外科
Cells Tissue organs	Effect of local environment, fibrin, and basic FGF incorporation on a canine autologous model of bio-engineered cartilage tissue	諸富 公昭	形成外科
形成外科	切断肢・指の再接着と切断形成	楠原 廣久	形成外科
形成外科	細胞治療に重要な足場（スケレト）と細胞外器質	伊谷 善仁	形成外科
PEPARS	母指再建の考え方と実際	楠原 廣久	形成外科
日本再生医療学会雑誌	生分解性ポリマーを用いた眼窩底骨折の治療	諸富 公昭	形成外科
Int J Urol.	Role of vaccine therapy for renal cell carcinoma in the era of targeted therapy.	吉村 一宏	泌尿器科
Br J Cancer.	Phase I clinical trial of human vascular endothelial growth factor receptor 1 peptide vaccines for patients with metastatic renal cell carcinoma.	吉村 一宏	泌尿器科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
BJU Int.	Sorafenib rechallenge in patients with metastatic renal cell carcinoma.	野澤 昌弘	泌尿器科
日本視能訓練士協会誌	両眼加重の働きと影響因子 —なぜヒトは2つの眼があるのか—	若山 暁美	眼科
Invest Ophthalmol Vis	Influence of Background Complexity on Visual Sensitivity and Binocular Summation Using Patterns with and without Noise	若山 暁美	眼科
Invest Ophthalmol Vis	Slug is upregulated during wound healing and regulates cellular phenotypes in corneal epithelial cells	青松 圭一	眼科
日本コンタクトレンズ学会誌	ソフトコンタクトレンズへのタリビッド®眼軟膏塗布試験	月山 純子	眼科
Adv Ther	Comparison of Corneal and Aqueous Humor Penetration of Moxifloxacin, Gatifloxacin and Levofloxacin During Keratoplasty	福田 昌彦	眼科
Cornea	Results of PKP Triple Procedure with 25-gauge Core Vitrectomy	檜垣 史郎	眼科
Doc Ophthalmol	A case of bilateral, acquired, and acute dysfunction of short-wavelength-sensitive cone systems	國吉 一樹	眼科
日本コンタクトレンズ学会誌	シリコーンハイドロゲルレンズに対する化粧品汚染と各種洗浄液の効果	月山 純子	眼科
あたらしい眼科	Heidelberg Edge Perimeter (HEP)の使用経験	江浦 真理子	眼科
BMC Ophthalmol	Immunohistochemical localization of urokinase-type plasminogen activator receptor and α 2-antiplasmin human corneal perforation: a case report	杉岡 孝二	眼科
Otology Japan	人工内耳手術後の遅発性合併症の検討	土井 勝美	耳鼻咽喉科
山口県医学会誌	人工感覚の未来 人工内耳Up-to-Date	土井 勝美	耳鼻咽喉科
JOHNS	急性感音難聴の最新治療戦略 メニエール病	土井 勝美	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床	直達外傷によるアブミ骨骨折に対してアブミ骨手術を行った1例	土井 勝美	耳鼻咽喉科
ENTONI	反復するめまいへの対応 メニエール病	土井 勝美	耳鼻咽喉科
Clinical Neuroscienc	めまい Vertigo, Dizziness or Else? 突発性難聴とめまい	土井 勝美	耳鼻咽喉科
EMBO Mol Med.	Functional genomics identifies five distinct molecular subtypes with clinical relevance and pathways for growth control in epithelial ovarian cancer.	万代 昌紀	産婦人科
Int J Cancer.	Utilization of genomic signatures to identify high-efficacy candidate drugs for chemorefractory endometrial cancers.	万代 昌紀	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Radiol	Optimal dose of contrast medium for depiction of hypervascular HCC on dynamic MDCT	藤谷 哲也	放射線科 (放射線診断学部門)
Hepatobiliary Pancreat Dis Int	Can the biliary enhancement of Gd-E0B-DTPA predict the degree of liver function ?	岡田 真広	放射線科 (放射線診断学部門)
British Journal of Radiology	MR imaging findings of mucoepidermoid carcinoma of the parotid gland: correlation with pathological feature	柏木 伸夫	放射線科 (放射線診断学部門)
Ann Nucl Med	Impact of CT attenuation correction by SPECT/CT in brain perfusion images	石井 一成	早期認知症センター
Acta Radiol	T2* relaxometry mapping of the uterine zones	今岡 いずみ	放射線科 (放射線診断学部門)
ACTA Radiologica	MR imaging findings of carcinoma ex pleomorphic adenoma in the parotid gland	柏木 伸夫	放射線科 (放射線診断学部門)
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	Primary adenomyoma of the fallopian tube mimicking tubal malignant tumor	江藤 智磨	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res	Carcinomatous meningitis during systematic chemotherapy in a patient with advanced small-cell neuroendocrine carcinoma of the uterine cervix	渡部 洋	産婦人科
Int J Clin Oncol 17:48-54, 2012	Clinical practice and outcome of radiotherapy for esophageal cancer between 1999 and 2003: The Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG) survey.	西村 恭昌	放射線科 (放射線腫瘍学部門)
Int J Radiat Oncol Biol Phys 83: 327-331, 2012	A phase I study of chemoradiotherapy with use of involved-field conformal radiotherapy and accelerated hyperfractionation for stage III non-small-cell lung cancer: WJTOG 3305.	西村 恭昌	放射線科 (放射線腫瘍学部門)
Int J Radiat Oncol Biol Phys 83: 559-565, 2012	Concurrent radiotherapy and Gemcitabine for unresectable pancreatic adenocarcinoma: Impact of adjuvant chemotherapy on survival.	西村 恭昌	放射線科 (放射線腫瘍学部門)
Jpn J Clin Oncol 42:807-812, 2012	Long-term follow-up of a randomized phase II study of cisplatin/5-FU concurrent chemoradiotherapy for esophageal cancer (KROSG0101/JROSG021).	西村 恭昌	放射線科 (放射線腫瘍学部門)
Cancer 118:6126-6135, 2012	A phase 3 study of induction treatment with concurrent chemoradiotherapy versus chemotherapy before surgery in patients with pathologically confirmed N2 stage IIIA non-small cell lung cancer (WJTOG9903).	西村 恭昌	放射線科 (放射線腫瘍学部門)
Invest New Drugs DOI:10.1007/s10637-012-9833-7, May 24, 2012	A phase I study of S-1 with concurrent radiotherapy in elderly patients with locally advanced non-small cell lung cancer.	西村 恭昌	放射線科 (放射線腫瘍学部門)
Anticancer Res 32:4533-4538, 2012	Clinical outcomes of thoracic radiotherapy for locally advanced NSCLC with EGFR mutations or EML4-ALK rearrangement.	西村 恭昌	放射線科 (放射線腫瘍学部門)
ペインクリニック	急性大動脈解離手術後に後頭神経痛を発生した症例	打田 智久	麻酔科学
Life Sci. 2013 Jan 17;92(1):91-9.	Cell adhesion molecule 1 is a new osteoblastic cell adhesion molecule and a diagnostic marker for osteosarcoma.	福田 寛二	リハビリテーション科
Arch Dis Child Fetal Neonatal Ed. 2013 May;98(3):F244-8. Epub 2012 Jul 21	Effect of therapeutic touch on brain activation of preterm infants in response to sensory punctate stimulus: a near-infrared spectroscopy-based study.	本田 憲胤	リハビリテーション部
Inflamm Res. 2012 Oct;61(10):1093-100	Cyclic compression-induced p38 activation and subsequent MMP13 expression requires Rho/ROCK activity in bovine cartilage explants.	中川 晃一	整形外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本関節病学会誌 31 (1) : 33-39 2012	感染人口股関節置換術における治療選択一期的再置換術と二期的再置換術の比較	西坂 文章	整形外科
中部整災誌 : 355-356 2012	腰部脊柱管狭窄症患者における保存治療の各分類別での効果	池田 光正	整形外科
中部整災誌 : 313-314 2012	大腿骨骨折術後40年経過した大腿gossypibomaの1例	丹 彰浩	整形外科
総合リハビリテーション 40 (11) : 1447-1451 2012	呼吸リハビリテーションと非侵襲的陽圧換気療法が奏効し酸素療法から離脱できた脊髄後側彎症の1例	本田 憲胤	リハビリテーション部
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 49 : 5235 : 2012	口蓋ミオクローヌスによる嚥下障害を呈した成人型Alexander病	上田 昌美	リハビリテーション科
日本骨・関節感染症学会雑誌 25 : 78-81 2012	手部骨関節感染症に対する抗菌薬加セメントの使用	大谷 和裕	整形外科
Journal of clinical rehabilitation 別冊 21-25 2012	神経難病の治療のトピックス免疫療法. Jour	上田 昌美	リハビリテーション科
理学療法学 40 (2) : 102-103. 2013.	運動が認知機能低下を予防するメカニズムの探索-有酸素運動が血中ノルアドレナリンと脳由来神経栄養因子に及ぼす影響の検討-	福田 寛二	リハビリテーション科
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 49(suppl) : 5256-5256. 2012.	回復期リハビリテーション病棟における糖尿病合併疾患患者の血糖コントロール状況とFIMとの関係	田中 敦子	リハビリテーション科
Clinical Neuroscience 30 : 574-575 2012	CIDPとMMN	上田 昌美	リハビリテーション科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 55 (5) : 1045-1046 2012	腓骨近位端に浸潤した平滑筋肉腫の1例	山岸 孝太郎	整形外科
日本早期認知症学会誌 5 (1) : 29-32 2012	中強度有酸素運動時の血中ノルアドレナリンと脳由来神経栄養因子分泌の関係	福田 寛二	リハビリテーション科
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 50 (2) : 151 2013	脳卒中後の左半側空間無視患者に対するプリズム順応療法の試み	田中 敦子	リハビリテーション科
Source : 末梢神経23 巻2号 Page239-240 (2012. 12)	抗myelin-associated glycoprotein抗体関連ニューロパチーの1剖検例	寒川 真	神経内科
Source : 臨床神経学52 巻12号 Page1550 (2012. 12)	ピッカーstaff型脳幹脳炎における感染症の関与 ギラン・バレー症候群との差異	上田 昌美	リハビリテーション科
大阪府理学療法学会誌 : 24巻 Page36 (2012. 06)	包括的呼吸リハビリテーションにより劇的にADLの改善がみられた1症例	白石 匡	リハビリテーション部
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌22巻Suppl : 196s (2012. 10)	呼吸リハビリテーションによる活動量変化と6分間歩行試験、SGRQとの関連	白石 匡	リハビリテーション部
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌22巻Suppl : 174s (2012. 10)	肺切除術患者に対する呼吸リハビリテーション効果の検討	前田 和成	リハビリテーション部
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌22巻Suppl : 163s (2012. 10)	コンディショニング中心による介入にて6MWDに著明な改善を認めたCOPD症例	杉谷 竜司	リハビリテーション部

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
大阪府理学療法学会大会誌24巻 : 63 (2012. 06)	先天性股関節脱臼に伴う高位脱臼にて転子下骨切り術併用THAを施行した症例 脚延長に留意した理学療法	杉谷 竜司	リハビリテーション部
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌22巻Suppl : 161s (2012. 10)	COPD患者の高次脳機能障害に関連する因子の検討	岡島 聡	リハビリテーション部
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌22巻Suppl : 134	当院における呼吸ケアサポートチームの現状と課題	山縣 俊之	リハビリテーション科
Stem Cells Dev. 2012 May 20;21(8):1239-49.	Reduced oxygen concentration enhances conversion of embryonic stem cells to epiblast stem cells.	竹原 俊幸	高度先端総合医療センター・再生医療部
Cell Transplant. 2013;22(2):309-29	Induction of functional mesenchymal stem cells from rabbit embryonic stem cells by exposure to severe hypoxic conditions.	寺村 岳士	高度先端総合医療センター・再生医療部
Stem Cells Dev. 2013 Mar 15;22(6):928-38	Generation of embryonic stem cell lines from immature rabbit ovarian follicles.	寺村 岳士	高度先端総合医療センター・再生医療部
Journal of Mammalian Ova Research 29(1):11-16. 2012	Embryonic Stem Cells: A Novel Attractive Research Tool for Germ Cell Development (review).	寺村 岳士	高度先端総合医療センター・再生医療部
Clinical Laboratory	Relationship between serum bilirubin and remnant lipoprotein cholesterol level.	上裕 俊法	臨床検査医学部
臨床病理	IgG4関連疾患に認めたIgGサブクラス測定値(IgG1~IgG4総和)と総IgGの乖離についての考察	上裕 俊法	臨床検査医学部
感染症学雑誌	グリコペプチド系抗菌薬を投与中に検出されたvancomycin intermediate Streptococcus aureusの臨床微生物学的検討	上裕 俊法	臨床検査医学部
感染症学雑誌	環境由来Mycobacterium lentilavumに対するコバスTaqMan MAI偽陽性反応の検討	上裕 俊法	臨床検査医学部
J Gastroenterol Hepatol	Dysregulated expression of fatty acid oxidation enzymes and iron-regulatory genes in livers of Nrf2-null mice.	田中 裕滋	臨床検査医学部
J Pharmacol Exp Ther	Ezetimibe increases hepatic iron levels in mice fed a high-fat diet	田中 裕滋	臨床検査医学部
Leuk Res	Overexpression of MDR1 and survivin, and decreased Bim expression mediate multidrug-resistance in multiple myeloma cells.	佐藤 隆夫	病院病理部
Mol Cell Endocrinol	Bisphosphonate- and statin-induced enhancement of OPG expression and inhibition of CD9, M-CSF, and RANKL expressions via inhibition of the Ras/MEK/ERK pathway and activation of p38MAPK in mouse bone marrow stromal cell line ST2.	佐藤 隆夫	病院病理部
J Neural Transm	(-)-Epigallocatechin-3-gallate increases the number of neural stem cells around the damaged area after rat traumatic brain injury.	佐藤 隆夫	病院病理部
Stroke	Delay of stroke onset by milk proteins in stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	佐藤 隆夫	病院病理部
Toxicol Appl Pharm	Reduction of metastasis, cell invasion, and adhesion in mouse osteosarcoma by YM529/ONO-5920-induced blockade of the Ras/MEK/ERK and Ras/PI3K/Akt pathway.	佐藤 隆夫	病院病理部
J Jpn Soc Clin Cytol	アレルギー性真菌性副鼻腔炎の1例.	佐藤 隆夫	病院病理部

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
-------	-----	-----------	---------

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 工藤 正俊
管理担当者氏名	病院事務部長代理 橋本 克己

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		患者支援センター 医療支援課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	職員課	
	高度の医療の実績	医事業務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事管理課	
	高度の医療の研修の実績	医事管理課	
	閲覧実績	医療安全対策課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事業務課 患者支援センター	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事業務課 薬剤部	
項規 第 一 第 一 条 に 掲 げ ら れ た 一 体 第 一 項 各 号 の 状 況 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全対策室	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理室及び 院内ホームページ

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 工藤 正俊
閲覧担当者氏名	病院事務部長代理 橋本 克己
閲覧の求めに応じる場所	病院棟2階 相談室3・閲覧室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	83.9 %	算定期間	平24年4月1日 ~ 平25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	28,529人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,823人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,599人	
	D: 初診の患者の数	38,763人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総則 2. 安全管理委員会 3. 安全管理部 4. リスクマネージャー 5. 報告等にもとづく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 6. 安全管理のためのマニュアル整備 7. 医療安全管理のための研修 8. 事故発生時の対応 9. 患者相談窓口 10. その他 </td> </tr> </table> 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 総則 2. 安全管理委員会 3. 安全管理部 4. リスクマネージャー 5. 報告等にもとづく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 	<ol style="list-style-type: none"> 6. 安全管理のためのマニュアル整備 7. 医療安全管理のための研修 8. 事故発生時の対応 9. 患者相談窓口 10. その他
<ol style="list-style-type: none"> 1. 総則 2. 安全管理委員会 3. 安全管理部 4. リスクマネージャー 5. 報告等にもとづく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 	<ol style="list-style-type: none"> 6. 安全管理のためのマニュアル整備 7. 医療安全管理のための研修 8. 事故発生時の対応 9. 患者相談窓口 10. その他 		
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 21 回		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理部の報告を受け、医療安全管理の検討及び研究に関すること 2. 医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに委員会によって立案された防止対策及び改善策の実施状況の調査及び見直しに関すること 3. 医療安全管理のために行う職員に対する指示に関すること 4. 医療安全管理のために行う院長等に対する提言に関すること 5. 医療安全管理のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6. 医療訴訟に関すること 			
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 21 回		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. これだけは知って欲しい！みんなの医療安全 2. 医療ガス及び器具の安全点検講習会 3. 医療機器研修 4. 医療におけるインフォームドコンセント 5. チーム医療の教育 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 6. 圧迫療法の実際と管理方法 7. 医療安全と危ない薬 8. 個人情報・薬剤部 その他 9. 嚥下・誤嚥について 10. 児童虐待防止に関する子ども家庭センターとの連絡会 </td> </tr> </table> 		<ol style="list-style-type: none"> 1. これだけは知って欲しい！みんなの医療安全 2. 医療ガス及び器具の安全点検講習会 3. 医療機器研修 4. 医療におけるインフォームドコンセント 5. チーム医療の教育 	<ol style="list-style-type: none"> 6. 圧迫療法の実際と管理方法 7. 医療安全と危ない薬 8. 個人情報・薬剤部 その他 9. 嚥下・誤嚥について 10. 児童虐待防止に関する子ども家庭センターとの連絡会
<ol style="list-style-type: none"> 1. これだけは知って欲しい！みんなの医療安全 2. 医療ガス及び器具の安全点検講習会 3. 医療機器研修 4. 医療におけるインフォームドコンセント 5. チーム医療の教育 	<ol style="list-style-type: none"> 6. 圧迫療法の実際と管理方法 7. 医療安全と危ない薬 8. 個人情報・薬剤部 その他 9. 嚥下・誤嚥について 10. 児童虐待防止に関する子ども家庭センターとの連絡会 		
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ((有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： リスクマネージャー会議等を通じて全職員へ周知するとともに、院内LANに掲載し周知を図り、改善策の徹底を図っている。また、安全管理研修参加状況の個人識別化を実施している。 			
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (1 名) ・ 無		
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (2 名) ・ 無		
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(1)名 兼任(11)名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期的に医療安全対策室会議を開催し、必要事項を管理委員会に勧告する 2. 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査 3. 定期的な現場の巡回・点検、マニュアルの遵守状況の点検 4. マニュアルの作成及び点検並びに見直しの提言等 5. アクシデント・インシデントレポートの収集、保管、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果の管理、具体的な改善策の提案・推進とその評価 6. 医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知 7. 医療安全に関する職員への啓発、広報 8. 医療安全に関する職員研修の企画、立案、運営 			
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	(有) ・ 無		

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染防止対策に関する基本的考え方 2. 院内感染防止対策の組織の概要 3. 感染防止対策に関する職員研修 4. 感染症発症状況の報告とその経路に関する基本方針 5. 感染症情報の院内への提供と広報 6. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 7. 患者などへの情報提供と説明 8. 地域連携 9. 院外への情報公開 10. その他の院内感染防止対策 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> a. 院内感染防止対策の指針およびマニュアルの作成と改訂 b. 院内感染防止対策に関する情報の収集と職員への周知 c. 院内感染防止に関する職員研修の企画 d. 院内感染が疑われる事例等の原因究明結果と対策を職員に周知する 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 新規採用時の研修では感染対策の基礎について、定期研修においては針刺し・切創、血液・体液曝露、ノロウイルス、インフルエンザなどの研修会開催時期に合わせた季節の感染症対策、および外部から招聘した感染対策の専門家による講演会を実施した。全職員が参加し、興味を持てる内容とするため、研修会講師はICTチームの医師、看護師、薬剤師、検査技師が担当をした。 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 定期、および臨時のICTラウンド、ICTニュース、院内感染防止対策委員会、各ICTメンバーの参加している委員会、研修などを通じ、院内感染発症防止、院内感染対策の情報を発信して、啓発を繰り返し行っている。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	1年 2回
・ 研修の主な内容： 1. 抗血栓薬服用患者の周術期における適正使用 2. 向精神薬の危険性 3. 血液製剤の取扱いと注意点 4. 麻薬管理Q&A	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (○有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： 業務手順書に関するチェックリストに従い、確認作業を実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 医薬品情報発信ツールとして、電子カルテのメール機能を活用 2. 医薬品有害事象情報収集のため、電子カルテシステムを活用 3. 各種医薬品情報の検索システムとして、YUYAMAMのMD-Bankを活用 4. 医薬品に関する問い合わせ及びその対応のデータベース化	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 54 回
・ 研修の主な内容： ① 医療機器の有効性・安全性に関する事項 ② 医療機器の使用方法に関する事項 ③ 医療機器の保守点検に関する事項 ④ 医療機器の不具合等が発生した場合の対応（施設内での報告、行政機関への報告等）に関する事項 ⑤ 医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の作成 ((有) ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： ① 人工心肺装置及び補助循環装置 ② 人工呼吸器 ③ 血液浄化装置 ④ 除細動装置(自動体外式除細動器：AEDを除く) ⑤ 閉鎖式保育器	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器ホームページ作成により、情報提供及び情報の閲覧に関する利便性を向上し、周知徹底を図っている。	